

平成 29 年度人間総合科学研究科
スポーツ健康システム・マネジメント専攻
専門科目試験問題

自分が「志望したコース」における A 群、B 群の中からいずれか 1 つの群を選び、その問いにある 2 つの課題について、それぞれ解答しなさい。

(コースの名称)

[スポーツプロモーションコース]

- A 群 スポーツプロモーション領域
- B 群 スポーツマネジメント領域

[ヘルスプロモーションコース]

- A 群 ヘルスプロモーション領域
- B 群 ストレスマネジメント領域

- 注 1) 「志望したコース」とは、出願書類に自分が志望して記入したコース名を指します。コース内においては、A 群、B 群どちらを選択しても構いません。
- 注 2) 解答は、問いのそれぞれの 1 課題に対して答案用紙 1 枚を用いて答えること。なお、裏面への記入および 1 課題に対して 2 枚以上の使用は認められません。
- 注 3) 各答案用紙には、志望研究科名、専攻名、受験番号を指定欄に記入するとともに、最初の行に領域名及び課題番号を必ず明記してください。
- 注 4) 試験終了後、問題用紙、答案用紙、下書き用紙のすべてを回収します。

[スポーツプロモーションコース]

A群（スポーツプロモーション領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）スポーツプロモーションにおける「みんなのスポーツ」と「生涯スポーツ」の考え方の違いについて論じなさい。

課題（2）2007年に開始された東京マラソンがきっかけとなり、全国で参加人数の多い市民マラソン大会が開催されるようになった。近年、市民マラソンが盛んに行われる理由を、外部環境分析で用いられる政治、経済、社会、技術などの視点から論じなさい。

B群（スポーツマネジメント領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）アジアのスポーツ競技力向上のために、我が国の競技団体や大学、企業などができる国際貢献・協力について論じなさい。

課題（2）オリンピック（他国開催）においてパフォーマンスを発揮するために想定されるリスクを2つあげ、それぞれにどのように対処すべきかを論じなさい。

[ヘルスプロモーションコース]

A群（ヘルスプロモーション領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）ヘルスプロモーションにおいて、スポーツ活動により解決される健康課題を2つ挙げ、その理由をそれぞれ論じなさい。

課題（2）ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチについてそれぞれ具体例を挙げて説明しなさい。さらに、なぜ、疾病予防・介護予防、健康増進において、ハイリスクアプローチと共にポピュレーションアプローチの実施が重要視されるのかについて論じなさい。

B群（ストレスマネジメント領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）労働安全衛生法の改正に伴い、平成27年12月から50人以上の職場における年1回のストレスチェックが義務化された。このストレスチェック制度のねらいと実施方法について論じなさい。

課題（2）ソーシャルサポート（社会的支援）について定義しなさい。また、ソーシャルサポートによる心身の健康への効果について論じなさい。